

# 日刊金属

令和2年盛夏特別号外



2020

XVIIIIMXX

beautiful new era



8月の納涼パーティーにて。交流を深めるアイデア企画で遊覧船をチャーターした。(2018年・大阪)

参<sup>さん</sup>  
・未<sup>み</sup>  
・尽<sup>つ</sup>を提唱  
激変の時代に新思考で挑む

TOP INTERVIEW

非鉄金属リサイクル全国連合会

会長 橋本 健一郎

全国 241 事業者が加盟する非鉄金属リサイクル全国連合会は、先ごろの第 62 回通常総会で、橋本アルミ株式会社の取締役である橋本健一郎氏 (50) を新会長に選任した。中国経済の陰りに重なり、新型コロナウイルスの感染拡大が押し寄せる "苦難" のとき。新たな方針が求められるなか、業界の若手リーダーに今後の方針や抱負などを聞いた。

本稿は、令和2年6月頃の寄稿と電話インタビューもとに構成しています。(編集部)



新会長への就任、まずは、抱負をお願いします。

方針として、「参・未・尽」、つまり「さん・み・つ」を前面に押し出していきたい。もちろん新型コロナ対策の3密ではありません。当組合に「参」加することが、自分・会社・組合ひいては社会の「未」来のために「尽」くす

ことになる。このことを強調し、推進したい。

新型コロナにより世の中は大きく変わろうとしている。リーマン・ショックは言わば人災だったが、新型コロナは天災ともみられるようなもので、比較はできず、今後の動向もまったく予想がつかない。

アフターコロナ、ウィズコロナなどいろんなことが言われているが、ポイントは一つで



海外研修で銅線のリサイクル現場を視察。クアラルンプールを代表する非鉄大手も訪問した。（2019年・マレーシア）

す。不要な行動は避け、デジタル通信化できるものはする、取り入れる、という点に尽きる。組合活動もこれに照らし合わせて活動することで、危機を乗り越え、進化していくことだと私は感じている。



前会長から、受け継がれたものは。

ただ同時に、六車龍三前会長が、スローガンの「進会楽」でも言われてきたように、人は他の人とのコミュニケーションを通じて喜び、楽しみ、生きていくエネルギーを培っていきます。単なるデジタルツールによる情報のやりとりだけでは、人も組合の事業も進化しません。

では、相反するこのテーマにどう対応していくのか。世界中が、今、この回答のないテ-

マに試行錯誤しながら立ち向かっていかねばならず、その最中です。私も、理事会、総会、懇親会などの組合活動をどのように行っていくのか。皆様のお知恵を借りながら、このテーマの回答を任期中に出したいと思います。皆様のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



非鉄全連の現在の活動状況については。

定期的な活動としては、定時総会の開催や、非鉄金属スクラップの流通量調査などを行っている。また、六車会長時代から始まったリサイクル環境対策委員会が月間でWEBレポート「晴耕雨読@R」を発行したり、「進会楽チャンネル」という動画も定期的に発信したりするなど、SNS時代に応じた活動も盛んに展開している。



地元の人たちとも交流。現地の文化も体験した。  
(2019年・マレーシア)



青年部が年1回持ち回りで開催している全国工場見学会も10年以上続いており、これまでに青年部で活躍したメンバーが理事に名を連ねる時代になってきたことをうれしく、心強く思っている。



さて、業界の現状と取り巻く環境については。

新型コロナの第2波の可能性はもちろんあるが、感染拡大のピークはいったん過ぎ、实体经济への影響に目が向けられ始めている。観光や飲食業界の危機が騒がれているが、5月以降、決算、各種統計が出始め、関連業界でもすでに一部では40%減など、リーマン・ショック並みもしくは同等の悪化が始めている。経済的には、むしろこれからが危機、正念場と考えていいだろう。

ただ、最大の輸出先の中国の経済低迷も底打ち感が始まり、景気対策の効果やアフターコロナ価値観から、自動車や建設、半導体などで新たな需要が出始めており、スクラップの値下がり、荷余り一辺倒の展開にはならないと思う。

その辺りを踏まえ、これまで以上に輸出の動向にも目を向けながら、環境省、経済産業省とも連携して情報を共有、ビジネスにつなげていきたい。



では、リサイクル産業の将来像を。

アフターコロナからの価値観から世の中は大きく変わり、リサイクル産業の将来も大きく変わると考えている。

具体的には、これまでの活動プラス、感染



毎秋恒例のボウリング大会。大会後の懇親会は欠かせない。(2019年・大阪)

対策が必要になってくる。今までなら本業以外に環境対策、労働環境対策などが取り組むべき課題だったが、2020以降はこれプラス感染症対策が必要になってくる。

例えば、従業員の体温チェック、うがい手洗いの徹底、現場でのマスクの着用など、今一度専門家の意見も取り入れ、組合としての指針、マニュアルなども必要になってくるだろう。

こうした対策をしたうえで、国内販売だけでなく、さらに輸出への対策も要求されるなど、業界としては厳しい世の中になる。しかし、前向きにとらえて、次世代への安心安全のために取り組んでいきたい。



非鉄全連の課題と対応について、お聞かせください。

課題はやはり組合員の方にメリットを提供できるかどうか。組合＝組織力ならば、仕事や行政への影響力を考えると、組合員が多い方がいいのは当然。やはり、新規加入を増やすことが大切だ。これには、認知度を高めることが一番だろう。新聞に活動が掲載された時などは、新規加入の希望が2、3件ある。今後はSNSなども含めて、認知度を高めていく。



活動の活性化に向けたアイデアは。

役員がかなり若返り、同じ世代に青年部活動を行った方も増えてきたので、意識のコン

センサスは、取りやすくなったと思う。

昨年行ったテーマパークでの総会も過去最大の250人を動員したことから考えれば、やはり今までのやり方に囚われない柔軟な姿勢でやっていくことが重要だ。

また、認知度を高める意味でもメディアとのコミュニケーションも増やしたいと考えているので、新聞各社にも協力をお願いしたい。



富士山の清掃活動に参加されたそうですね。

部活であれ、サークルであれ、組合活動であれ、一つの目標に向かって仲間と活動することで、結束を高め、いくつになっても付き合い合える友人をつくることができる。関西支部での活動や今季から始まる全連での活動も、青年部時代に知り合ったメンバーが土台になっている。



最後に、いまの若手組合員へ、メッセージを。

若いときは実働もたくさんあり忙しいと思うが、時間を作って青年部活動や全連のイベントで全国に仲間を作って欲しいと思う。結果的にそれが仕事にもつながり、人生を豊かにする、出逢いを大切に。



会長近影

**橋本健一郎**（はしもと・けんいちろう）  
1969年12月25日生まれ。1990年、橋本アルミ株式会社入社、現在、取締役。関西非鉄金属リサイクル協同組合（前大阪非鉄金属商工協同組合）では、青年部長を経て、2018年、設立以来最年少で理事長に就任。現在2期目。趣味はボディビル。6年前から「はまって」おり、週3回ほどジムでトレーニング。「ベストボディジャパン世界大会マスタースターズ」でチャンピオンにも。家族は妻と女の子一人。兵庫県出身。



#### 橋本アルミ株式会社の沿革

本社：大阪市浪速区桜川1丁目1番19番

代表取締役社長：橋本寿郎

取締役：橋本健一郎、橋本健児

1932年 橋本商店 発足

1951年 浪速故銅(株)に組織変更

1966年 橋本金属(株)に名称変更

1983年 橋本金属(株)のアルミ部門をスタート

1984年 橋本金属(株)から独立し、橋本アルミ(株)創業

1993年 中国貿易スタート

2001年 産業廃棄物中間処理許可

2004年 中国の法律改正により中国政府公認金属資源輸出許可

2004年 輸出許可 AQSIQ ライセンス許可

